

広報はだのを
スマートフォンへ
配信します。

i 広報紙



主な内容

- ◇「チカイナカ」特集 (1-7面)
- ◇第69回 秦野たばこ祭 (8面)
- ◇ダイヤモンド富士の撮影スポット(8面)
- ◇商店街プロレス×軽トラ市 (8面)

毎月2回(1日・15日)発行

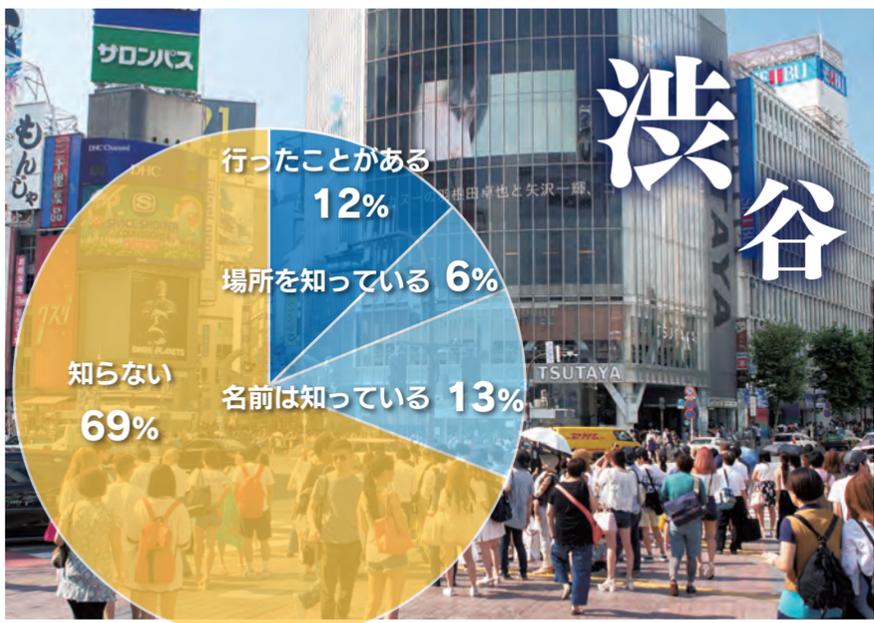
編集・発行 秦野市 市長公室広報課 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号 代表 ☎0463(82)5111 FAX 0463(82)9792 <http://www.city.hadano.kanagawa.jp>



チカイナカ

「さあ、今夜は庭でバーベキューだ」
そこに住む人には、見慣れた光景。
でも、神奈川に田舎をイメージする人は
実は、そう多くない。
みんなに、このまちを知ってもらいたい。
本当の意味で「近い田舎」って、なんだろう。

7面まで「チカイナカ」特集



若 者の街、渋谷。夏休みということもあって、10〜20代の若者の活気であふれている。彼らに聞いてみた。

「アンケート？いいですよ！え？秦野？知らないっす」

「知らないです。どこですか？」

「前に横浜に住んでいたけど、神奈川にそんな所あったっけ？」

気軽に答えてくれるものの、知っているのはかろうじて小田急沿線に住む人くらい。そんな中、

「行ったことある！友達に住んでいるんですよ。何だっけ？そうそう、たばこ祭！誘われて行きました！」

といった話も飛び出す。他にも、

「知ってるよ。でもなんて読むの？はたの？はだの？」

「ハダノ？ああ、漢字見て分かった。知ってる知ってる」

アスファルトから立ち込める熱気をものともせず、友達とはしゃぎながら「今」を謳歌する若者たち。さて、秦野の知名度は…

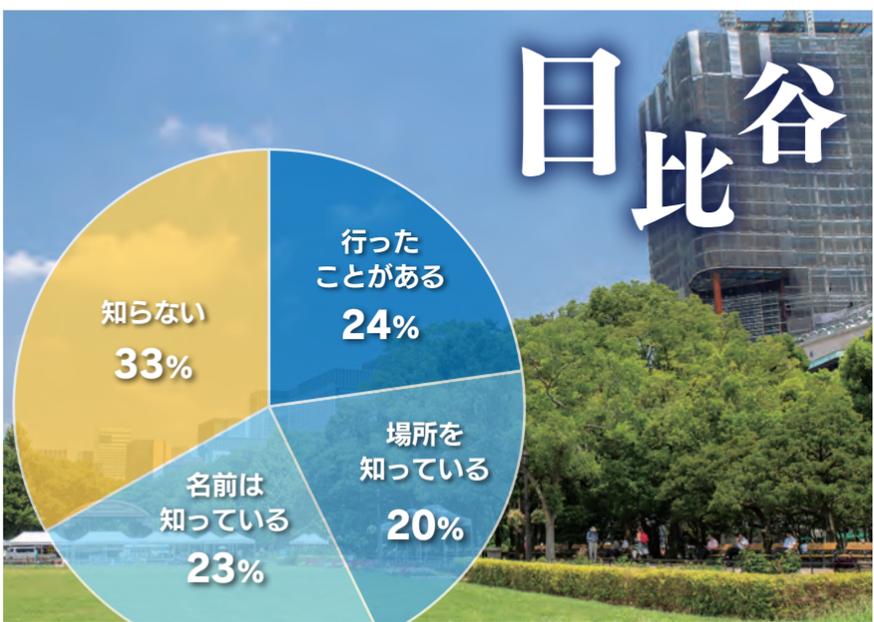


都内で100人に聞きました！

「秦野」を知っていますか？



新宿から約1時間のまち「秦野」。こんなに「近い田舎」だからその良さを知ってもらいたい。そもそも都心での秦野の知名度は？



平 日の正午、昼食をとるサラリーマンやOLでにぎわう日比谷公園。

流行りのスマートフォンゲームで出現するモンスター集めに夢中になっている人に話しかけると、笑顔で答えてくれた。

「ああ、知っていますよ。小田急線の駅がありますよね」

「高速道路のインターチェンジがあるところですよ」

「行ったことはないけどなあ」

聞いたのが30〜50代のサラリーマンということもあってか、仕事関係で知ったという人が多くいた。

また、「行ったことがある」と答えた人は、登山やハイキングといったレジャーで来たことがあるようだ。そうした人にとって、秦野には豊かな自然に恵まれたまちというイメージがあるという。

昼食のひとときを、緑豊かな日比谷公園でくつろぐサラリーマンに、秦野はさぞかし魅力あるまちとして知られていると思われたが…





秦野をもっと近くする

サブカル目線の田舎の魅力



▲水無川の人道橋で、記念の山ポーズ



▲カルチャーパークの「バラ園」も絶好のスポット



▲1km以上続く桜と丹沢の背景は、最高の田舎風景



▲お互いに仲良く撮り合い、写真の出来栄に笑顔

若者に秦野をもっと知ってもらうにはどうすればいいか。近年マスコミにぎわすのは、アニメやゲームなど、いわゆるサブカルチャーの人気。リオ五輪の閉会式では、安倍首相も人気ゲームのキャラクターに扮し、世界の注目を集めた。この「日本のサブカル」を味方につけない手はない。にわかには広がりを見せる、秦野のコスプレイベント取材した。

初

丹沢の豊かな自然に感謝しようと、この日は飲食店の山盛りメニューなど、まちを挙げてさまざまな記念イベントが実施された。

そんな中、丹沢の山並みを間近に望むカルチャーパークの広場では、カラフルな衣装を身にまとったコスプレイヤーたちが続々と姿を現した。

「まずはこの噴水の前で撮ろうよ」

集まったのは、主に10〜20代の女性たち。人気アニメのキャラクターになりきろうと、ウィッグやカラーコンタクトはもちろんだ。中にはお手製の武器を用意した人もいた。暑さをしのぐとプールにやっていた来園者を尻目に、それぞれが慣れたポーズと顔つきで写真を撮っていく。

「あ、この写真いいね！雰囲気出てる」カメラの画面越しに笑顔で確認し合う様子は、旅先の旅行者と変わらない。意外なのは、道行く人があまり不思議そうな顔をしないことだ。

「よく見掛けるよ。初めはビックリしたけど、楽しそうだし、愛想やマナーもとてもいい子たちだよ」教えてくれたのは散歩中のおばあちゃん。確かに、周りの迷惑にならないように気に掛けているのが分かる。

「子供が知ってるキャラクターも多いので、家族連れが声を掛けてくれることが多いです。イベントを知って来てくれた人もいました」

と話すのは、市内の友達と4人で参加していた県内在住の20代女性。秦野の撮影会にはよく来るそうだ。

「山や季節の花があつたりと、奥行きと緑のある背景は、アニメの世界観によく合うんです」



「秦野には若者を呼ぶ力がある」と鈴木さん

都会にも緑はあるが、建物など余計なものが多くて撮りにくいという。また、今回初参加だった、都内に住む20代女性は、「好きな自転車のアニメで秦野を知りました。自然豊かで最高。今度は私服で、山や街歩きを試してみたいです」

サブカルチャーを発信力に

今回の山の日撮影会を企画したのは、コスプレO代表の鈴木渉さん(44歳・平塚市)。15年ほど前に文化会館でイベントを初開催し、毎年、市内を中心に活動の場を広げている。

「私たちサブカル好きも、こうして山の恩恵を受けている一人ですからね」水無川沿いの桜が満開になる季節には、毎年多くのコスプレイヤーが集まる。これも、鈴木さんが仕掛けた撮影会がきっかけだ。

「埼玉や栃木からも来ますね。コスプレの世界ではもう、関東で1・2を争う桜の聖地ですよ」テレビや新聞などに取り上げられたこともありますが、何よりツイッターなど、SNSの効果が大きいという。

「コスプレイヤーの方は、知らない人同士でもすごいスピードで情報を拡散させるんです。それに、きれいな写真を公開するから一般の方にも興味をもってもらえるんですよ」

田舎らしさとサブカルチャーのコラボはまちの魅力発信に不可欠だと、最近では観光協会や飲食店と協力し、まちを巻き込んだ活動に精を出し始めた鈴木さん。彼らの新たな目線は、若者が秦野を知る大きな糸口になりそうだ。

『何度も触れるから、覚悟ができる』

「実」は私も、田舎暮らしに憧れて移住した一人なんです。4月にこの仕事に転職するまでの15年間、東京都の新島で暮らしてました。そこでの実体験を生かして、単なる自治体のPRや相談者の要望を鵜呑みにすることのないよう、相談者の今後の人生に寄り添うことを大切にしています。

私は、相談者に必ず確認していることがあります。それは、田舎暮らしの覚悟があるかどうかです。ここでいう覚悟とは、「近所付き合い」です。憧れの田舎暮らしをスタートさせても、1年を待たずに辞めてしまう人が少なくありません。大半の人は、この覚悟がないからです。都会の生活では、隣人とすら全く話さない人もいます。「地域活動がタダ働きにしか感じられない」「常に誰かに監視されている気がする」と思ってしまうのも、無理はありません。ですから「初めは煩わしいと思っても、それ以上いいことが返ってくるのが田舎なんです」と、お伝えしています。タダ働きではなく「信頼づくり」、監視ではなく「見守り」なんだと、私も島での生活で気づきましたから。

また、これまで多くの方の相談を受けてきて意外だったのは、地域の下調べをせず、とりあえず古民家や菜園付きの家などを求めるだけで、物件ありきで移住先を求める人が非常に多いこと。これこそ、地域のコミュニティに入れない危険なパターンです。何度も地域に足を運んで、まずはその場所を知るようにアドバイスしています。



柳沢 寿樹 相談員(43歳) ちょこっと田舎・かながわライフ支援センター

移住を決める前に、その土地の田舎らしさに気軽に触れることのできる機会があること。気軽に行動する距離であること。この2つは、私が移住希望者にぜひおすすしめしたい「ちょこっと田舎」の要素です。秦野はそれを十分に備えていると思うので、市や地域の方に、移住希望者を快く受け入れてもらえたらうれし



田舎の魅力に心惹かれた人が行きつく先は、「暮らしたい」。でも、どんな田舎があるの？ 私の求める田舎って？ 彼らは、きっと迷う。

その人の選択肢に「秦野」はあるだろうか。彼らをここへ導くコンシェルジュが今、東京にいる。



秦野をもっと近くする

のススメ

ちょこっと田舎暮らし

定住化促進住宅「ミライエ秦野」



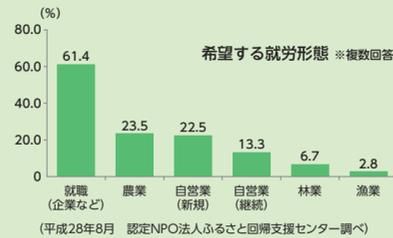
35歳以下の若年夫婦または小学校就学前までの子供のみがいる世帯を対象とする公営の賃貸住宅(11月から入居者募集予定)。将来市内に住宅を購入し、定住の足掛かりにしてもらう。子育てアドバイザーが常駐し、乳幼児の遊び場にもなる子育て支援室があるほか、市内に住宅を購入した際、ミライエ秦野の入居期間に応じて最高60万円の住宅購入助成が受けられる。

上地区 いなか暮らしふるさと塾



秦野の原風景ともいえる里地里山に囲まれた上地区で、田舎暮らしを体験できるイベントが6月に開催された。おとしの夏に初開催し、今年で3回目。大人にも子供にも田舎暮らしを楽しく体験してもらうために、地元のものづくりなどの達人・通称「たっしやもん」が、自分の持つノウハウを教え、竹トンボや田舎料理作り、ドラム缶風呂の入浴や里山散策などを一緒に楽しんだ。

田舎暮らし希望者が求める就労形態



都会で暮らしている田舎暮らし希望者の半数以上が、移住先でも企業などへ就職したいと思っている。一方、「2015年に1都3県へ本社機能を移した企業数は過去最多で、16年もこの傾向が続く。」(平成28年8月8日の日本経済新聞朝刊)とある。地方都市へ移り住んでの就職は年々厳しい状況にあるため、「都会に通える田舎」は、今後さらに人気が高まっていくのではないだろうか。

ちょこっとボックス



▲東京・大阪・愛知・北海道を除く43府県と18市町(平成28年8月1日現在)が個性豊かなポスターなどで地域をPR。求人・住宅・子育てに関するパンフレットなども手に入る。

昨年12月に神奈川県がオープン ちょこっと田舎・かながわライフ支援センター



ターゲットは、東京在住・在勤者

場所は、東京のオフィス街・有楽町(JR有楽町駅徒歩1分 東京交通会館8階)。「きれいな空気の中で子育てをしたい」「仕事を続けながら農ある暮らしに挑戦したい」「第2の人生を静かな場所で過ごしたい」そんな人たちに、移住に役立つさまざまな情報を提供している。



神奈川にあるよ 憧れの田舎

都心近くにありながら、水や緑に囲まれた「ちょこっと田舎」な神奈川県。都会と田舎の両方の良さを生かして、県内で人口減少が進む地域などへの移住を後押しする。窓口には専門の相談員がいて、相談者のニーズに合った地域や移住までのプロセスなどを提案してくれる。 ☎070(4127)5905(定休日 月・火曜日)



秦野市の職員も東京でPR

センターを運営する認定NPO法人ふるさと回帰支援センターは、都内で定期的にセミナーも開催。各自治体の職員が移住希望者へ地域の魅力を直接PRしている。本日も、これまでにセミナーやフェアに3回参加。「交通の利便性」と「自然の豊かさ」を兼ね備えた、秦野ならではの暮らしやすさをアピールしている。



K・Yさん (東京都江戸川区在住50代女性・料理人)

日本橋の日本料理店で修業中。農ある暮らしを求めて、4月に農作業初心者も気軽に参加できる「はだの有機栽培クラブ」に入会。平日の仕事の傍ら、週末になると上地区の菖蒲へ通い、農業体験をしている。

『二地域居住という選択肢』

都会で生まれ育ったので、以前から農業に憧れていたのが、きっかけでした。3年前に千葉の農地を借りて、野菜やハーブを育て始めたんです。その後、通っていた調理専門学校で、有機農法を通じて美と健康に触れ、「コレだ!」と思いました。でも、学べる場所がなかなか見つからなくて。そんな折に、今年の冬、電車で行ったセミナーの広告を見かけ、相談員に秦野のクラブを紹介してもらったんです。選んだ決め手は、ロマンティックな電車の本数も多くて便利なこと。これなら今の仕事をしながら通えると思いました。そして空気がきれい、日本一になった名水があること。私の求める有機農法には、理想的な環境です。あと、子供の頃に秦野へキャンプをしに行っていたので、縁を感じました。ただ、私のようなよそ者をクラブや地元の方々が受け入れてくれるか、心配でした。有機農法自体、農業を使っている地元農家の方々に迷惑をかけてしまうこともあると聞くので、本当にできるかが不安でした。思い切った参加して4カ月。本業も始めたばかりで忙しく、通えないことが多いですが、とても楽しいです。初めて上地区の菖蒲に行ったら、新宿から約1時間、しかも神奈川にこんな田舎があったのかと驚きました。堆肥からカブトシロの幼虫が出てきた時は感動もどきました。これまで草取りやサトイモの植え付け、田植えなどを体験させてもらいました。地元の方は丁寧な指導してくれました。同じ時期に入会した都内の夫婦もいたので、安心しました。近い将来、都内での生活を続けながら、秦野にも家を構えて、週末だけ農ある田舎暮らしをする「二地域居住」に挑戦したいです。あと、料理人の仕事が一歩前になったら、したいことが2つあります。一つは、食育。同じ野菜を年中食べられる世の中だからこそ、「旬」というものを都会の子供たちに教えたい。もう一つは、田舎の食のPR。秦野に新しくできる新東名高速道路のサービスエリアなどで、自分の料理で田舎の有機野菜の素晴らしさを伝えたいです。都内に自前の店を構えたいです。そこでもPRしたい。地元の協力があってできることなので、今後は皆さんともっと交流したいです。私が、都会などの橋渡しになれるはず。こんな風に身近ですべきな田舎を知ってもらわないと、もったいないです。



吉田一家と私の7年間

私



- ① 自宅のウッドデッキに取り付けられたハンモックと遊具は、子供の特等席
- ② 初の自宅出産。みんなで見守った、命の誕生
- ③ 仔ヤギと踊る？子供たち
- ④ お父さんとミツバチの待ち箱作り
- ⑤ 絶滅危惧種のイモリにも、触れられる
- ⑥ みんなで準備して、みんなでお祝い。その繰り返し、地域の絆をつくる



(左から) 光君(8歳)、満君(2歳)、優駿君(14歳)、真杜君(11歳)、ウメコとソウタ(4歳・2歳)、勝子さん(38歳)、直哉さん(50歳)

吉田一家

田舎暮らしを求めて、7年前の4月に自然豊かな上地区の八沢へ移住。一家を支えるのは、横浜など県内一帯が勤務地である県職員の直哉さんと専業主婦の勝子さん。4人のわんぱく息子と2匹のツンデレなヤギが家族の笑顔を作る。自分たちの生活を「プチ田舎暮らし」と呼び、自然や地域住民との交流、農作業などを楽しみながら地元溶け込む。

憧れの田舎暮らしといえば、
退職・転職後。生活基盤は農業。

みんな、そんなイメージだった。

でも、都会に通勤しながらだって、満喫できる。

そんな田舎暮らしが、ここにあるんだ。

それは、私が20歳を迎えた春の出来事だった。小学生と小さな子供2人を連れて、その夫婦はやってきた。「トトロの世界みたいにしようね」子供たちを気にしながら、母親も童心に返ったような表情で声を弾ませる。あちこちを見渡し、何かをたくらむ父親の視線が、少し怖かった。どうやら、この地に一目惚れしたようだ。

しかし、住み始めた頃の夫婦は、大変そうだった。たまたま近所の不幸が重なり、お葬式の手伝いに何軒も呼ばれていた。祭など、地域のさまざまな行事にも声を掛けられ、毎月のように準備などを手伝っていた。移住者には、避けては通れないキツイ田舎の洗礼だったろう。

さあ、夫婦のグチを聞いてあげないと。でも、二人の会話から出たのは、意外な言葉だった。

「受け入れられた気がして、うれしかったね」

ここに住む前の5年間、吉田家は横浜市から厚木市の借家へ引っ越し、一足早く田舎暮らしに触れていたらしい。しかし、一時滞在者として、地元の人とは一線引かれていたように感じていたようだ。「新参者の一番の武器は、やっぱり子供だな。近所の人と話が弾むし、すぐに知ってもらえるしね」

「周りはみんな知ってる人。子供は悪いことは叱られるし、良いことは褒めてもらえる。地域の人が一緒に成長を見守ってくれるのはうれしいね」

吉田家の子供たちは、この7年間ですごく成長したと思う。上地区は子供が少なく、歳が違えば友達とも仲が良く、ここへもよく遊びに来る。年下に加減したり手伝ってあげたりと、自制心が育まれているのが、目に見えて分かった。

「お母さん、イモリの住んでる場所を、高校生的なお兄さんに教えてもらったんだよ」

豊かな自然も、この子たちを育てている。下校中、捕まえた生き物を歯みがきコップに入れて帰ってくるのは日常茶飯事。桑の実を食べて、ホラー映画さながらに口を紫にして帰ってくると、母親は

「あれは、私も汚されなかつた。隣の助産師を呼んで、自宅出産。母親が陣痛を忘れるほど、家族で大騒ぎだった。」「赤ちゃん、頑張れー！」「お母さん、頑張れー！」

そこにいた誰より力強い産声が、鳴り響いた。みんな、幸せそうだった。こんなにすてきな騒音、何度でも聞きたいな。そうそう、この年はヤギのソウタも産まれて、一気に田舎らしい大家族になったね。もはや「プチ」にとどまらない吉田家の田舎暮らしだけど、何より苦労したのは、最初の家探しだったみたい。

だから、私のことをとても大切にしてくれる。出会った頃は普通の中古住宅だった私に、ウッドデッキや子供の遊具を付けてくれた。庭にはピザ窯まで作ってくれた。子供の成長と共に、年々すてきな家に私を育ててくれている。

「あと30年、40年住み続ければ、この家も立派な古民家だね」

「子供たちが大人になったとき、自分の故郷はここだと言える場所を、手に入れられた気がする」

私が人間だったら、子供たちに負けないくらい、嬉し泣きたかも。

この先、吉田家みたいな家族がもっと増えてくれたら、うれしいな。

それは、私が20歳を迎えた春の出来事だった。小学生と小さな子供2人を連れて、その夫婦はやってきた。「トトロの世界みたいにしようね」子供たちを気にしながら、母親も童心に返ったような表情で声を弾ませる。あちこちを見渡し、何かをたくらむ父親の視線が、少し怖かった。どうやら、この地に一目惚れしたようだ。

しかし、住み始めた頃の夫婦は、大変そうだった。たまたま近所の不幸が重なり、お葬式の手伝いに何軒も呼ばれていた。祭など、地域のさまざまな行事にも声を掛けられ、毎月のように準備などを手伝っていた。移住者には、避けては通れないキツイ田舎の洗礼だったろう。

さあ、夫婦のグチを聞いてあげないと。でも、二人の会話から出たのは、意外な言葉だった。

「受け入れられた気がして、うれしかったね」

ここに住む前の5年間、吉田家は横浜市から厚木市の借家へ引っ越し、一足早く田舎暮らしに触れていたらしい。しかし、一時滞在者として、地元の人とは一線引かれていたように感じていたようだ。「新参者の一番の武器は、やっぱり子供だな。近所の人と話が弾むし、すぐに知ってもらえるしね」

「周りはみんな知ってる人。子供は悪いことは叱られるし、良いことは褒めてもらえる。地域の人が一緒に成長を見守ってくれるのはうれしいね」

吉田家の子供たちは、この7年間ですごく成長したと思う。上地区は子供が少なく、歳が違えば友達とも仲が良く、ここへもよく遊びに来る。年下に加減したり手伝ってあげたりと、自制心が育まれているのが、目に見えて分かった。

「お母さん、イモリの住んでる場所を、高校生的なお兄さんに教えてもらったんだよ」

豊かな自然も、この子たちを育てている。下校中、捕まえた生き物を歯みがきコップに入れて帰ってくるのは日常茶飯事。桑の実を食べて、ホラー映画さながらに口を紫にして帰ってくると、母親は

「あれは、私も汚されなかつた。隣の助産師を呼んで、自宅出産。母親が陣痛を忘れるほど、家族で大騒ぎだった。」「赤ちゃん、頑張れー！」「お母さん、頑張れー！」

そこにいた誰より力強い産声が、鳴り響いた。みんな、幸せそうだった。こんなにすてきな騒音、何度でも聞きたいな。そうそう、この年はヤギのソウタも産まれて、一気に田舎らしい大家族になったね。もはや「プチ」にとどまらない吉田家の田舎暮らしだけど、何より苦労したのは、最初の家探しだったみたい。

だから、私のことをとても大切にしてくれる。出会った頃は普通の中古住宅だった私に、ウッドデッキや子供の遊具を付けてくれた。庭にはピザ窯まで作ってくれた。子供の成長と共に、年々すてきな家に私を育ててくれている。

「あと30年、40年住み続ければ、この家も立派な古民家だね」

「子供たちが大人になったとき、自分の故郷はここだと言える場所を、手に入れられた気がする」

私が人間だったら、子供たちに負けないくらい、嬉し泣きたかも。

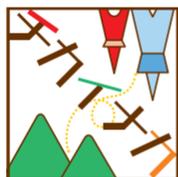
この先、吉田家みたいな家族がもっと増えてくれたら、うれしいな。



板橋倫太郎 主査
秦野市役所企画課

和田利一さん(71歳・菖蒲)
上地区自治会連合会会長

吉田直哉さん(50歳・八沢)
1・6面で紹介した田舎暮らし家族



近い仲

チカイナカ

場所だけじゃなく、心も近づきたい…
受け入れる人、移住してきた人、行政
異なる3者の立場から、
それぞれの本音を語ってもらった。

秦野ならではの「近い田舎」

板橋 日頃感じている秦野の良いところってどんなところですか。
和田 空気が澄んでいて、水もおいしいし、景色もいい。相模湾から房総半島まで一望できる場所もあったりしますからね。

吉田 7年前に田舎暮らしをしようと思って家探しをしていたんですが、「伝統行事がたくさん残っていて、人の結びつきが強いから、吉田さんにとってぴったりの場所だと思うよ」と友人が教えてくれたのが秦野でした。自然ばかりでなく、そういったものも求めていたので。見に来たら一目ぼれでした。

板橋 人のつながりが強いというのは、実感しますね。地域活動など、皆さん本当にいろいろなことを積極的にやっていたらいいですね。お子さんは秦野に対してどういった反応ですか。
吉田 都会のすぐ近くにある田舎という環境を子供たちも気に入ってくれています。

和田 いわゆる地方都市の田舎とは違うんだよね。
板橋 吉田さんは農業もやっていると聞きました。その中で良かったことはありますか。
吉田 落花生を最初に引っこ抜いたときに「これが落花生か！」と感動しましたね。最初から最後まで自分でやるという喜びは大きいです。

和田 土いじりが好きな人にとっては、たまらないでしょうね。
吉田 秦野は、子育てがしやすい場所だと思います。今の若い人は車を持っていませんから、近くに店がなくても不便じゃないし、駅も遠くない。近所の人たちの目があるので、子供たちを親だけで育てるといよりは地域で育てるといふ雰囲気を感じます。

和田 小学生を、下の名前で呼んだりしてね、子供は地域の宝ですよ。
板橋 「上地区いなか暮らしふるさと塾」の参加者からも、自然豊かな環境は素晴らしいという感想が多いですね。子供をそういう環境に触れさせたい親って多いんです。

吉田 上小学校に市街地の子供を受け入れるような仕組みがあると人気が出ると思いますよ。子供にとって、貴重な体験がたくさんできると思っています。
和田 ただ、本当に人は減ってきているなという実感はありますね。空き家も増えてきたし。

大切なのは「近い仲」

板橋 市も、県の移住セミナーに参加したんですが、移住を希望する人は、新しい所という受け入れをしてくれるか、心配される方が多いですね。
和田 前から住んでいる人と移住してきた人とは、なかなか相いれないというのが昔はありました。今は地元住民の意識が変わってきて、そういうことはなくなりましたね。行事も新しい人も入ってもらおうように声をかけたりしています。

吉田 私が引越してきたところには新しい家が数軒あるんですけど、前からいる人たちになんでも教えてもらえる雰囲気だったので、溶け込みやすかったですね。
和田 自治会としても、移住してきた人が入りやすい雰囲気、仕組みづくりをしたいと考えているんですよ。

吉田 すべての人が田舎暮らしに向いているとは思わないんです。地域の行事などに拒絶感を持つ人はいると思うんです。そういうのを楽しめる人じゃないと、しんどいかもしれませんね。自分も引越してきた時は、早く地域に溶け込みたくて、多少無理をしても行事に出るようにしました。

和田 自治会が率先して声を掛けることも心掛けたいですね。しきたりとかいろいろアドバイスもできるし。多くの人気が持ちよくなるので、自治会が積極的に声を掛けられる雰囲気づくりも大切ですね。

板橋 市では、若年夫婦や子育て世帯向けの賃貸住宅を作って、市内に定住する足掛かりにしておこうという施策を進めています。まさに吉田さんが実践してこられたことですね。また、新東名高速道路の開通で人の流れができるチャンスを生かして、知名度を上げることが重要かなと思っています。

和田 ふるさと塾もテレビの取材が来てくれたし、ラジオを聞いて来たという人も何人かいました。メディアを通して目玉になるようなことをすれば、知名度は上がるのかなと思いますね。
吉田 いずれ、「コミュニティカフェ」をやるといふ夢があるんですよ。住んでみたいと思った人の相談にいつでも乗れる、できれば空き家情報も提供できるような場所を作れないかと考えています。移住者として経験したこと、失敗したことなどいろいろありますから、そういうこともアドバイスできればと思います。

板橋 市内では県人会の活動が盛んなので、移住経験者と移住希望者と交流できるものがあるのも面白いかもしれませんね。
吉田 相模原市に「里山長屋」という共同で田舎暮らしをする施設がありますけど、そういう施設があってもいいんじゃないかな。
和田 移住してきた人と地元の人の気持ちも近づけることが大切。地域の行事にまず声を掛けて参加してもらい、お互いを分かり合う。地道な活動だけど、粘り強く続けていけば心の垣根はなくなっていくんじゃないかな。

秦野たばこ祭期間中も開催
「秦野たばこ資料展」



昭和初期のたばこ畑 見立 市川団十郎 煙草売り

とき 9月13日(火)～25日(日)
ところ 本町公民館
内容 たばこ耕作と江戸時代の煙草文化を写真パネルや浮世絵などで紹介

問い合わせ
生涯学習課文化財担当☎(87)9581

第69回
秦野たばこ祭

9月24日(土)
25日(日)

来場のご案内

臨時駐車場
ところ 本町・南中学校、末広小学校の校庭 料金(1回) ◇自動車 500円 ◇原付・自動二輪車 200円

パークアンドバスライド
カルチャーパーク第1駐車場から県立西部総合職業技術校前まで、無料シャトルバスを運行します。
運行日程 ◇24日 正午～午後8時50分 ◇25日 午前10時～午後8時50分 ※およそ15分間隔で運行

問い合わせ 観光課☎(82)9648

休業します 市営片町駐車場
9月23日(金)正午から25日(日)午後10時まで駐車できません。
問い合わせ 産業政策課☎(82)9646

障害者と要介護認定者と震災避難者を招待 市役所屋上で花火観覧
とき 9月25日 午後7時半～8時 対象 市内在住の障害者または要介護認定を受けている方とその介護者、東日本大震災避難者 120人(申し込み先着順)
申し込み 9月1日(木)午前8時半～電話のみ受け付け ※聴覚障害者はファクス((82)8020)も可

問い合わせ 障害福祉課☎(82)7616、高齢介護課☎(82)9616、地域福祉課☎(82)7392

駐車場を優先的に確保します
とき 9月25日 午後1時～4時または午後4時～7時
対象 肢体不自由児(18歳未満)の世帯 台数 各5台(申し込み多数のときは抽選) 申し込み 9月9日(金)までに障害福祉課へ

問い合わせ 障害福祉課☎(82)7616

中学・高校生活の貴重な経験に

観覧者募集
中学生スピーチコンテスト
市内在住の中学生14人が思いや主張を英語で発表します。来場者の投票で決める「オーディエンス賞」もあります。
とき 9月18日(日) 午後1時半～4時
ところ 文化会館 入場自由

参加者募集
姉妹都市アメリカ・パサデナ市へ青少年訪問団



パサデナ市長とも交流

とき 平成29年1月4日(水)～10日(火)
対象 市内在住の中学生2人・高校生4人(申し込み多数のときは抽選) 費用 約7万円 申し込み 申込書(市役所3階市民自治振興課、公民館、市ホームページなどにあります)に志望動機(600字以上)を添えて、9月21日(木)までに〒257-8501市民自治振興課へ郵送または持参

問い合わせ
市民自治振興課☎(82)5118

一瞬のきらめきを
ダイヤモンド富士



神秘の輝きを撮ろう

富士山の山頂に太陽が沈んでいくとき、まるでダイヤモンドのようにきらめく、神秘的瞬間をカメラに収めてみませんか。

とき(時刻は目安)	ところ
9月14日(水)午後5時26分	下大瀬地入口交差点
15日(木)午後5時23分	震生湖近くの高台
17日(土)午後5時20分	今泉名水桜公園
19日(月)午後5時18分	市役所付近
19日(月)午後5時19分	権現山山頂
20日(火)午後5時18分	めんようの里
25日(日)午後5時09分	田原ふるさと公園
10月1日(土)午後5時03分	菜の花台
6日(木)午後4時57分	岳ノ台

問い合わせ 観光協会☎(82)8833

子育てを応援しませんか
ファミリーサポートセンター

子供を預かる「支援会員」と預ける「依頼会員」で構成するファミリーサポートセンター。自宅で子供を預かったり、学校や習い事へ送迎したりと、地域での子育てを応援しています。登録後の会員間の調整や個別の相談には専任のアドバイザーが対応します。

利用料金(依頼会員が支援会員に支払う金額)
◇月～金曜日の午前7時～午後7時(年末年始を除く) 1時間700円 ◇上記以外 1時間900円 ※預かり対象は3カ月児～小学6年生。初回利用の依頼会員の方に、利用料の一部を助成。子供の送迎に必要な交通費、支援会員が用意した飲食物やオムツなどの費用は実費

支援会員を募集
市内在住で育児や保育に理解と熱意のある方なら、誰でも登録できます。登録には、研修会への参加が必要です。

支援会員研修会
とき 9月21日(水)、26日(月)、27日(火)の全3回 午前9時半～午後0時半 ところ 保健福祉センター 内容 保育者としての心得、子供との遊び方など 定員 60人(申し込み先着順) ※保育あり(予約制)

問い合わせ
ファミリーサポートセンター☎(84)1330

文化会館チケット情報

9月19日(月)午前10時発売
(電話受け付けは午後1時～)

販売中
地域貢献券が利用できます

東儀秀樹&塩谷哲
～光り降る音～
平成29年1月15日(日) 午後3時～ 小ホール 3500円

宇崎竜童 & 村井忠一と Big18オーケストラ
9月18日(日) 午後4時～ 大ホール 3500円

※いずれも全席指定。未就学児は入場できません

問い合わせ 文化会館☎(81)1211

商店街プロレス×丹沢はだの軽トラ市開催

町おこしを目的に、駅前広場に設置するリングで試合を行います。地元商店街と観光協会、J:COMが共同開催。「軽トラ市」や地元アーティストたちによるパフォーマンスも会場を盛り上げます。

とき 9月18日(日) 正午～午後7時
※雨天のときは10月15日(土)

ところ 東海大学駅前広場

問い合わせ 観光協会☎(82)8833



人気レスラーが勢ぞろい



行政一般

弘法の里湯 入浴料を割り引き

9月は高齢者感謝月間として、土・日曜日、祝・休日も入館・入浴料を200円割り引きます。健康保険証など年齢の分かるものを提示してください。※他の割引との併用は不可 対平成28年9月30日現在で65歳以上の方 関弘法の里湯☎(69)2641

ご利用ください 市営駐車場

場◇片町駐車場(本町四ツ角交差点そば) ◇渋沢駅北口駐車場(渋沢駅北口前) 駐車料金 30分100円(午後10時～翌朝8時までは1時間100円) ※市役所西庁舎1階産業政策課と駅連絡所で回数券(10枚900円)を販売 関産業政策課☎(82)9646

9月1日～10日は 屋外広告物適正化旬間

屋外広告物の設置は、県の屋外広告登録業者に発注してください。また、許可の基準は設置場所や種類で異なるため、事前に必ず相談してください。許可基準や申請用紙は、市役所西庁舎2階開発建築指導課または市ホームページにあります。 関開発建築指導課☎(83)0883

設置費用を補助 家庭用雨水浸透ます

対象地区 本町・南・東・北・西地区(地区内でも対象にならない場所があります) 補助額 設置金額の2分の1(1宅地に4基まで。1基当たりの上限額は1万2500円) ※工事着手後の申請は不可 関経営総務課☎(81)4113

健康・子育て

献血

時場◇9月4日(日) 10日(出) 19日(月) 22日(木) 午前10時～11時半、午後1時～4時 イオン秦野SC ◇25日(日) 午前10時～11時半、午後1時～3時半 市役所 関健康づくり課☎(82)9603

9月10日～16日は 自殺予防週間

時場内◇駅頭キャンペーン 9月9日

Table with 3 columns: 時とき, 対対象, 申申し込み. 場ところ, 定定員, 締締め切り. 内内容, 費費用, 問問い合わせ

(金) 午後5時～6時 秦野駅周辺 ◇図書館内キャンペーン 9月9日～23日(金) 関連書籍の紹介 関健康づくり課☎(82)9603

ふたごサークルさくらんぼ

時9月13日(火) 10月19日(水) 午前10時～11時半 場保健福祉センター 内出産、育児などの相談 対双子の妊婦と就学前の双子の家族 関健康づくり課親子健康担当☎(82)9604

はだの野菜ヘルシー料理講座

時9月27日(火) 午前10時～午後1時半 場保健福祉センター 内落花生の炊き込みごはんなど 費500円 定30人(申し込み先着順) 関健康づくり課☎(82)9603

健康推進員の養成講座

時10月4日(火)、11日(水)、24日(月)、31日(日)の全4回 午前9時半～11時半(4日は午前10時～正午) 場保健福祉センター 対ボランティアで自主体操会などの活動ができる30人(申し込み先着順) 関健康づくり課☎(82)9603

食生活改善推進員の養成講座

時10月4日(火) 午前10時～正午、18日(火) 11月9日(水) 12月7日(水) 午前9時半～午後1時半、平成29年1月23日(月) 午前9時半～午後2時、2月10日(金) 21日(火) 午前10時～午後1時半 全7回 場保健福祉センター 内世代別食育など 定30人(申し込み先着順) 費3500円 関健康づくり課☎(82)9603



ご協力を 市内一斉美化清掃

時9月11日(日) 場各自治会の区域 ※実施時間や雨天時の対応は、各自治会で決定します 関環境資源対策課☎(82)4401

就職を支援 個別カウンセリング

時9月14日(水) 21日(水) 午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く) 1人1時間 場市ふるさとハローワーク(秦野駅前農協ビル3階) 内適職発見、求人情報の検索・活用、応募書

類の書き方、面接トレーニングから1つを選択 ※後日メール相談可 対市内在住の18～65歳の求職者5人(申し込み先着順) ※21日は保育あり 申電話で予約し、市役所西庁舎1階産業政策課または市ふるさとハローワークへ 関産業政策課☎(82)9646

市文化祭 水墨画展

時9月15日(木)～18日(日) 午前10時～午後5時(15日は午後1時～、18日は午後4時まで) 場文化会館 関生涯学習課☎(84)2792

里山を歩こう「秋の気配」

時場9月17日(土)午前9時東公民館集合～正午 内里山で野鳥や植物の観察 定30人(申し込み先着順) 関環境保全課☎(82)9618

応急手当講習会

時9月20日(火) 午後1時～5時 場保健福祉センター 内普通救命講習II(成人への心肺蘇生法、AEDの使い方など) 対市内在住・在勤・在学の中学生以上40人(申し込み先着順) ※修了証を発行。再受講も可 関警防対策課☎(81)8020

募集

パサデナ市の中学生と交流しよう スカイプキャンプ

時10月21日(金)午後8時～22日(土)午前10時 ※事前研修 10月15日(出)午前9時～11時 場表丹沢野外活動センター 内姉妹都市・アメリカ合衆国パサデナ市の中学生とスカイプ(インターネットによるビデオ通話)で会話 対市内在住の中学生5人(申し込み多数のときは抽選) 申9月9日(金)午後5時までに市民自治振興課へ 関市民自治振興課☎(82)5118

スポーツ

ふれあいスポーツデー

時9月3日(出) 午前9時～正午 場総合体育館 内トランポリンなど 関スポーツ協会☎(84)3376

こどもテニス教室

時10月7日～11月25日の金曜日 全8回 午後5時半～6時半 場総合体育館 対小学1～4年生30人(申し込み多数のときは抽選) 費3500円 申9月5日(月)～11日(日) 関スポーツ協

会☎(84)3376

施設情報

図書館 ☎(81)7012

映画会

時内◇9月3日(出) 午前10時～午後0時10分 「優駿 ORACION」(邦画) ◇9月10日(出) 午後3時半～4時「チップとデール」(アニメ) 定各日80人(当日先着順)

おはなし会

時内◇9月3日(出) 「しりごとま」など ◇10日(出) 「ジルベルトとかぜ」など ◇17日(出) 「おやすみなさいおつきさま」など ◇24日(出) 英語のおはなし会 いずれも午後2時半～3時 定各日30人(当日先着順)

市民大学

時内費◇平安時代に相模の国を訪れた二人の女性作家・相模と菅原孝標女 9月24日(出)、10月1日(出)の全2回 午後1時半～3時 講師 下鳥朝代氏(東海大学准教授) 400円 ◇徒然草への招待 10月15日(出)、22日(出)、29日(出)の全3回 午後1時半～3時 講師 鍛冶光雄氏(東海大学教授) 600円 ◇萬葉集の世界15 9月24日～10月22日の土曜日 全5回 午後3時10分～4時40分 講師 志水義夫氏(東海大学教授) 1000円 対各コース市内在住・在勤・在学の高校生以上80人(申し込み先着順)

花音朗読コンサート

時10月2日(日) 午後2時～3時半 内茨木のり子「わたしが一番きれいだったとき」 定80人(申し込み先着順)

くずはの家 ☎(84)7874

みんなでさがそう くずは川の生き物

時9月24日(出) 午前9時半～11時半 対小学生以上30人(申し込み先着順。小学2年生以下は保護者同伴)

広畑ふれあいプラザ ☎(77)6061

ふれあい学級 みんなで楽しく歌って健康に

時9月25日(日) 午前10時～11時半 対40歳以上30人(申し込み先着順)

寄付

カルチャーパーク陸上競技場の整備のために

7月16日 現金1件 1万円 寄付された方 匿名

臨時福祉給付金などを支給します

対象者には、9月6日(火)から申請書などを郵送します。

◇臨時福祉給付金 対平成28年1月1日に市内に住民登録があり、平成28年度の市民税が課税されていない方 ※課税されている方の被扶養者や生活保護受給者などを除く 支給額 1人3000円 ◇障害・遺族年金受給者向け給付金 対平成28年度臨時福祉給付金の対象者で障害基礎年金・遺族基礎年金などの受給者 ※高齢者向け給付金の受給者を除く 支給額 1人3万円 申9月7日(火)～平成29年1月31日(火)に、同封の返信用封筒で〒257-8501市役所西庁舎1階地域福祉課臨時給付金担当へ郵送(窓口受け付けは9月20日(火)、現金支給受け付けは10月3日(月)から) 関地域福祉課臨時給付金担当☎(86)9101

参加者募集

シニアライフを楽しもう

◇音楽療法 時9月21日(水) 10月19日(水) 午前10時～11時半 場堀川公民館 ◇よく食べよく出す講座 時9月27日(火)、10月4日(火)の全2回 午後1時半～3時半 場本町公民館 内尿モレ予防の体操や快適な生活のための工夫など 定20人 費100円 ◇行政書士相談会 時9月29日(木) 午後1時～3時 場サブセンターむつみ(平沢370-3) 定2人 ◇頭と体の若返り体操 時9月30日(金) 午前10時～11時 場曲松児童センター 定20人 ※いずれも65歳以上。定員があるものは申し込み先着順 関高齢介護課☎(82)7394

更新します 国民健康保険の保険証

10月から使用できる新しい保険証を、世帯ごとに9月24日(土)までに郵送します。なお、居住確認のため簡易書留(転送不可)で郵送します。

また、勤務先の健康保険などに加入しているのに、保険証が届いたときは、会社の保険証と国民健康保険証を持参し、市役所1階戸籍住民課または2階国保年金課で国民健康保険の脱退手続きをしてください。

保険証の返却 有効期限が切れた保険証は10月1日(土)以降、自分で破棄するか、国保年金課、戸籍住民課、公民館、駅連絡所へ返却してください。

予約を忘れずに 人間ドック

対象者には、4月下旬に利用券を送付しました。利用券での受診を希望する方は、9月30日(金)までに直接、検査機関に電話で予約してください。

国民健康保険に平成27年4月1日以前から継続して加入し、保険税を完納している40歳以上74歳以下の方、または後期高齢者医療制度に加入し、助成の申し込みをした方

☎国保年金課 ☎(82)9613

平成28年市議会第3回定例会

と き	会議名	開会時間	内 容
9月5日(月)	本会議	午前9時	開会・提案説明
7日(水)	本会議		議案審議
		特別委員会	本会議終了後
12日(月)	特別委員会	午前9時	平成27年度決算特別委員会(総括質疑・歳入審査)
13日(火)			平成27年度決算特別委員会(総務分科会)
14日(水)			平成27年度決算特別委員会(文教福祉分科会)
15日(木)			平成27年度決算特別委員会(環境都市分科会)
20日(火)	常任委員会	午前9時半	総 務
21日(水)			文教福祉
23日(金)			環境都市
26日(月)	委 員 会	午前9時半	議会運営委員会
27日(火)	本会議	午前9時	一般質問
28日(水)			
29日(木)			
10月5日(水)	特別委員会	午前9時半	決算特別委員会(座長報告、委員会採決等)
	本会議	特別委員会閉会后	委員長報告・議案審議・閉会

☎企画課 ☎(82)5101



催し案内

- デジタル秦野写真展** 9月6日(火)～11日(日) 午前10時～午後5時(6日は午後1時～、11日は午後4時まで) 宮永岳彦記念美術館 稲本 ☎(81)2740
- オカリナの合同音楽会** 9月11日(日) 午後1時半～3時半 本町公民館 200人(当日先着順) 山領 ☎(83)8057
- コミュニケーション講座** 9月14日(水)、28日(水)、10月12日(水)の全3回 午前10時～正午 南が丘公民館 20歳以上8人(申し込み先着順) 1回2000円(3回で5000円) 塩原 ☎(83)7707
- 秦野歴史おこしの会講演会** 9月17日(土) 午後1時半～3時 本町公民館 遺跡から見える古代秦野の様子 太田 ☎(74)2821

野の様子 太田 ☎(74)2821

仲間募集

- 丹沢日曜大工の会** 毎月第1・3日曜日 午前9時～正午 西公民館 のこぎり・ノミ・鉋などを使った工作 20歳以上 月1000円 千電 ☎(83)1462
- ステップ・イン・コカリナ** 毎月第1・3火曜日 午前11時～正午 南が丘公民館 木の楽器コカリナの演奏・アンサンブル 月3500円(体験は1回500円) ※楽器のレンタルあり 大竹 ☎(76)3389
- 八丈太鼓はなみずき** 毎週土曜日 午後6時～9時 中野健康センター 小学3年生以上 月2000円 やすの ☎080(2156)2071
- 丹沢水墨画鶴巻教室** 毎月第2水曜日 午後2時～4時 鶴巻公民館 月2000円 安楽 ☎090(4947)6655

湘南啄木短歌会 毎月第2金曜日 午前9時半～正午 南が丘公民館 1回300円 佐藤 ☎090(5503)9613

リズム体操コスモス 月3回金曜日 午前10時～11時半 渋沢公民館など 月1500円 柏木 ☎(88)7493

銀友卓球 月4回金曜日 午後1時～4時 大根公民館 初心者 月600円 入会金500円 秋吉 ☎(77)3290

その他

- 民間認可保育園の合同就職説明会** 9月4日(日) 午後1時半～4時半 文化会館 事務局 ☎(82)6226
- 不登校相談会・進路情報説明会** 9月24日(土) 午後1時～4時半 平塚市教育会館(平塚市浅間町12-41) フリースクールの活動紹介、個別相談会など 県教育委員会子ども教育支援課 ☎045(210)8292

公民館・会館だより

定員のあるものは原則申し込み先着順、ないものは原則入場自由です

- 東公民館 ☎(82)3232**
古道・大山道を歩く「路傍の神仏を訪ねて」 9月27日(火)午前9時公民館～午後3時 20人 250円
- 楽々フォト展** 10月2日(日)～11月11日(金) 秦野の四季の風景の展示
- 大根公民館 ☎(77)7421**
おおね防災・減災体験講座「みんなで学ぼう防災技術」 9月10日(土) 午前9時～正午 応急手当、ガラス飛散防止、ロープ活用技術などの体験
- 楽しい絵本(紙芝居)の読み聞かせ** 9月10日(土) 午後1時半～2時 「おつきみおばけ」など
- 本町公民館 ☎(84)5100**
高齢者くらしのミニ講座「とり肉をつかった簡単料理」 9月14日(水) 午後1時半～3時 20人 150円
- 南公民館 ☎(81)3001**
敬老の日プレゼント「きなこ棒」 9月17日(土) 午前9時半～11時半 小学生12人 500円

秋の草花あそび 9月17日(土) 午前9時～11時 震生湖ふれあい広場 小学生の親子10組

パソコン何でも相談 9月20日(火) 午後1時半～3時半 パソコン持参

渋沢公民館 ☎(87)7751
渋沢散策ハイキング(篠窪、開成町方面、彼岸花) 9月15日(日)午前9時渋沢駅改札前集合～午後3時 開成駅 15人 150円

野菜たっぷりドライカレーとピーナッツゆべし 9月27日(火) 午前9時半～午後1時半 16人 850円

上公民館 ☎(87)0212
秦野観光写真コンクール入賞作品展 9月2日(金)～14日(水)

男の料理教室「こだわりのカレーライス」 9月25日(日) 午前9時半～午後1時 20歳以上12人 1200円

西公民館 ☎(88)0003
季節のブローチパートⅡ「うさぎ」 9月23日(金) 午前9時～正午 20人 500円

初秋のバランス食 9月27日(火) 午前9時半～午後1時 夏の疲れをとる献立 15人 700円

やまなみ囲碁道場 10月～3月の第1・3土曜日 全12回 午前9時半～11時半 小学生以上10人

南が丘公民館 ☎(84)6411
伝承わらべうた 9月13日(火) 27日(火) 午前11時半～午後0時半 0歳児の親子8組 500円

母と子の絵本を楽しむ会 9月21日(水) 午前10時～11時 15組

アクティブ65「笑いの健康体操」 9月21日(水) 午後1時半～3時 65歳以上20人

堀川公民館 ☎(87)4111
レディース3B体操 9月27日(火) 午前10時～11時半 ポールやビニールロープなどを使った体操 15人 150円

鶴巻公民館 ☎(76)0463
初めての民謡教室 9月28日(水) 午後1時半～3時 20人 150円

北公民館 ☎(75)1678
パソコン講座「エクセル活用」 9月17日(土) 午前9時半～午後3時半 13人 850円

手もみ茶作り体験教室 9月17日(土)午前8時半 高梨茶園駐車場集合～午後6時 12人 1500円

月見まんじゅう作り 9月15日(日) 午前9時半～午後1時 16人 600円

ほうらい会館 ☎(81)8310
健康講座「認知症予防」 9月27日(火) 午後1時半～3時 30人